

即時リリース用

トルコ地震の3周年を迎え、 LCIF が復興支援への継続的なコミットメントを表明

(イリノイ州オークブルック、2026年2月5日) – トルコ南部の地域社会全体を壊滅させた一連の破滅的な地震から3年が経過した今も、ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) と世界中のライオンズは、この地域で過去100年以上の間で最悪とされる災害から、今なお復興に取り組む人々を支援する。

2023年2月6日の地震は数万人の命を奪い、数百万人が避難し、都市全体が破壊された。ライオンズとLCIFは、迅速に緊急対応を開始し、長期的な復興イニシアチブへと発展した。過去3年間で、LCIFは5百万ドル以上の交付金を提供し、最も深刻な被害を受けた地域全体でライオンズが人道支援を提供することを可能にした。

地震直後に、LCIFは緊急の人道的ニーズに対処するため大災害援助交付金を提供した。これらの資金は、地元のライオンズが主導する緊急避難所の提供、生活必需品の供給、ならびに救援活動の調整に充てられた。最初期の取り組みは、恒久的な解決策が計画されるまでの間、避難した家族に安全で一時的な住居を提供するLCIF資金によるコンテナ村とテント村などであった。

復興が進むにつれ、ライオンズは焦点を基本的なニーズから拡大し、長期的な社会的・心理的な影響に対処するようになった。LCIFの支援により、ライオンズとレオは仮設住宅で生活する子どもたちと家族のために教育プログラム、レクリエーション活動、社会活動を企画し、極めて困難な時期に日常感を取り戻す支援をした。

「地震の生存者のニーズは、災害が発生した後も長期間続きます」とファブリシオ・オリベイラ LCIF 理事長は言う。「ライオンズはこれらのコミュニティの一員であり、このような悲劇的な出来事の永続的な影響を目の当たりにしています。LCIFは、長期的な復興の過程を通じて、ライオンズによるその地域の人々に対する奉仕を引き続き支援してまいります。」

メルシンでは、何十万人もの被災者が避難所を求める中、LCIFの交付金により、ライオンズは託児サービス、女性向け技能訓練、その他の必要不可欠なサービスを提供するコミュニティセンターを設立した。アンタキヤでは、LCIFの資金で建設された別のコミュニティセンターが、地域の子どもたちに日々の食事と幼稚園教育を提供しており、

女性が家族を養うための収入を得られるように支援する事業の計画が進行中である。

「これらのコミュニティセンターは、地域住民が最も必要としている時に生活の安定を支えています」とオリベイラ理事長は言う。「LCIFは、家族が生活を立て直し、地域全体が未来を再建すること手助けするこの重要な活動を支援できることを誇りに思います。」

LCIF 資金援助によるトルコでのライオンズの事業について詳しく知るには、[こちらの動画](#)をご覧ください。LCIF が災害の影響を受けたコミュニティを支援する多くの方法と、あなたがどのように支援できるかについて詳しく知るには、lionsclubs.org/LCIF をご覧ください。

ライオンズクラブ国際財団とは

ライオンズクラブ国際財団（LCIF）は、思いやりの活動を拡大し近隣と世界で行われる奉仕に力を与える交付金を通じて、ライオンズクラブ国際協会の 140 万人の会員を支えています。1968 年の創設以来、LCIF は 2 万 4 千件以上、総額 13 億ドル余りの交付金を提供してきました。私たちは地域社会で、そして世界で、健康と福祉を向上させ、コミュニティを強化し、援助を必要としている人たちに支援を提供しています。詳細と活動内容については lionsclubs.org/lcif から、LCIF への寄付は lionsclubs.org/donate からお願いいたします。LCIF の Facebook を [@LCIFLions](#) でフォローしてください。